

# 岡山大学 MONTHLY DIGEST

VOL. 32  
2018. 12

TOPICS

1

## 未知の問題を発見し未知の解決法を自ら創造する力を涵養 岡山大学「SiEED」プログラムを設置



本学と株式会社ストライプインターナショナルは、岡山から未来創造に向けた新たな学びの場を通して、新たなビジネスが創出されることを目指す「SiEED」プログラムについて、12月6日、東京都内で共同記者会見を開催しました。

記者会見には、本学の槇野博史学長、株式会社ストライプインターナショナルの石川康晴代表取締役社長らが登壇。SiEEDプログラムに対する想いととも、2019年4月から開講される今までにない形のプログラムについて、力強く抱負を述べました。槇野学長は、「SiEEDで教職員学生の意識改革を行う。これからも世界で活躍できる人材を育成していきたい」と話しました。

本学では、2019年度1・2学期の教養教育科目に4科目を開講します。

参考 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id8141.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id8141.html)



TOPICS

2

## 世界ユースサミットOne Young World JAPANCAUCUS 2018で 横井副学長が柴山文部科学大臣と対談

本学の槇野博史学長と横井篤文副学長（海外戦略担当）が11月30日、世界ユースサミットOne Young World(OYW)の日本集会「JAPAN CAUCUS 2018」(東京都千代田区)に出席しました。

第2部に登壇した横井副学長は、柴山文部科学大臣と日本や海外におけるSDGs(国連の持続可能な開発目標)への貢献について英語で対談しました。

会場にはOYW日本代表団の壮行会を開催した駐日オランダ大使館関係者をはじめ、国内外から現職のリーダーや過去のOYW参加者らも含めた約100人が参加し、熱心に聴き入りました。

対談終了後には意見交換会もあり、槇野学長と横井副学長は、本学のSDGsの取り組みや、国内・海外における今後のSDGsの発展について参加者らと意見を交換しました。

参考 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id8157.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id8157.html)



左から槇野学長、柴山文部科学大臣、横井副学長  
写真提供: (c) em.fotografik | Emerge Inc.  
<http://www.emfotografik.com/>

### 最近の大学の取り組み

## 日本酒【純米大吟醸】「おお岡大」新発売！



岡山大学ブランドの新しい日本酒、純米大吟醸酒「おお岡大」が宮下酒造株式会社との協力で完成し、12月1日より販売を開始しました。

本醸造酒(H18年度から発売)、純米吟醸酒(H19年度から発売)、岡山大学農学部の農場で栽培した梅の実を原料とした梅酒(H21年度から発売)、焼酎(H22年度から発売)に続く『おお岡大』シリーズ第5弾になります。

“純米大吟醸 おお岡大”は岡山大学産のあけぼのを100%使用し、精米歩合50%まで磨き、米の上質なデンプン質のみを使用した純米大吟醸酒です。ラベルには岡山大学学生歌をプリントしています。

720ml入りで2,300円(税別)。岡南大学生協、セブン・イレブン(岡南大前店)、百貨店、酒工房 独歩館、クラフトビアショップ独歩、宮下酒造ホームページなどで販売しています。

参考 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release\\_id585.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id585.html)



TOPICS

3

## 岡山大学「研究教授」称号付与式(第1回)を開催 5人に称号付与

本学は平成30年10月、研究実績があり、研究代表者として外部資金を獲得して研究マネジメントを行っている准教授に対し、「研究教授」の称号を付与する制度を新設しました。

11月16日と29日に第1回となる研究教授の称号付与式を開催し、5人の准教授へ研究教授の称号を付与しました。

付与式では、榎野博史学長が、5人への今後の更なる活躍とともに、全学を挙げての大学改革と研究力の強化促進について述べました。榎野学長より研究教授の付与が行われた後、各付与者から研究紹介が行われました。

参考 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id8171.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id8171.html)



TOPICS

4

## 著名なジャーナリスト・池上彰氏が 岡山大学経済学会大講演会で講演



11月28日、本学経済学会が主催する2018年度経済学会大講演会で、ジャーナリストの池上彰氏が「ニュースから世界を読む」というテーマで講演しました。会場となった本学の創立五十周年記念館には、学生、教員ら約500人超が来場しました。

池上氏は、「国際情勢を見るために、水平(グローバル化)と垂直(歴史)という二つの視点を持つべきであり、大学生にとって今の世界で起きるさまざまな出来事を学問の観点からどう見るかということが大切だ」と語りました。

また、自身がテレビやラジオでさまざまな疑問を分かりやすく面白く解説する傍ら、東京工業大学などで教授としても教鞭をとっていることから、「テレビではやさしいが、学生には厳しい」とユーモアを交え、会場の笑いを誘っていました。

参考 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id8118.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id8118.html)



TOPICS

5

## SDGsサイエンスカフェを津山市内で開催

本学研究推進産学官連携機構は12月16日、「SDGsサイエンスカフェ(第2回)」を津山市内で開催しました。高校生や地元の関係者ら約50人が参加しました。

はじめに、大学院ヘルスシステム統合科学研究科の五福明夫教授が「AI技術の発展について」と題し講演。AI研究の現状や展望などを説明しました。同研究科の吉葉恭行教授は、科学技術史の観点から、「仕事」や「職業」がどのように変わってきて、今後どのように変わるのかを解説。一般社団法人上山集楽/大芦高原キャンプ場管理人/美作市地おこし協力隊の三宅康太氏による講演もあり、棚田の再生やキャンプ場の運営など、現在取り組んでいる仕事内容や、これまでの経験について話しました。

参考 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id8196.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id8196.html)

PRESS  
RELEASE 1

## ゲノム解析から明らかになった日本列島メダカの2つの旅路 —“出・北部九州ルート”と“出・但馬丹後ルート”—

大学院自然科学研究科の勝村啓史研究員(学振PD)と東京大学、北里大学の研究グループは、メダカ野生集団の網羅的ゲノム配列情報を用いて、その移動史を明らかにしました。本研究成果は11月27日、アメリカ遺伝学会が発行するオープンアクセスジャーナル「G3: Genes, Genomes, Genetics」のEarly Onlineで公開されました。

日本列島に住むメダカは大きく南日本メダカと北日本メダカの2つのグループに分けられると考えられています。南日本メダカは、これまでの研究から北部九州を起源として広がったことが推定されてきましたが、北日本メダカの起源はほとんど分かっていませんでした。ゲノムを網羅的に解析した今回の結果は、南日本メダカの北部九州起源を強く支持し、さらに南と北のハイブリッド(混血)が住む地域と考えられてきた但馬・丹後地方が北日本メダカの故郷であることを示しました。

参考 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release\\_id582.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id582.html)

